

令和3年度 夏休み号

令和3年 7月20日発行

横浜市立東汲沢小学校

# “輝け！ひぐみっ子” だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～

☎861-5531 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>

夏休みを迎えるひぐみっ子たちへ  
～遊び心と心からの笑顔～

校長 丹羽正昇

海の向こうアメリカの野球チームで活躍している大谷翔平選手。連日のように、アメリカや日本のニュースで取り上げられています。大谷さんの魅力の一つに、笑顔を絶やさずコミュニケーションをとっている姿があると、私は勝手に思っています。ホームランを打ったときの会心の笑み。上手いかないときに見せる苦笑い。人を気遣う優しい微笑み。さまざまある状況で、とびきりなのは、野球を心から楽しんでいるように見えるときの笑顔です。私は、この楽しむという状況が、実は子どもの資質・能力を育む土壌になると考えています。

ここで、子どもが楽しんでいるときの姿を思い浮かべてみましょう。何かに夢中になっている姿やきゃきゃっとはしゃいでいる姿などが思い浮かぶかと思います。しかし、たとえば、勉強もせずに、いつまでも他のことをやっていたり、おしゃべりをして、時間をつぶしているようにしか見えなかったりするときなどはどうでしょうか。楽しそうな様子は伝わりますが、大人には、無駄な時間の使い方に映ってしまうかもしれません。この大人からみて無駄に思える時間。子どもにとっては、成長している大事な時間だと、私は思っています。無駄という言葉は、あまり適切ではないかもしれません。「遊び心」あふれる時間とでも言いましょうか。誤解のないようにしたいのですが、私が言っている遊び心は、決していい加減な意味での遊びを指してはいません。本来的には、心の余裕とでも表現するのですが、私には、遊び心という言葉がしっくりきます。ひたむきさや真剣さの中にある遊び心。授業中だって、遊び心は大切です。教師が求めていることや教科書に書かれていることだけで学習が進む

学びに夢中になるひぐみっ子



のではなく、子どもの思いや意欲に委ねられて学習が進む授業。子どもの発言や話し合いが止まらない。子どもの探究がずっと続いていく。大人である教師からは、計画どおり進めたいのにというため息が漏れる授業でこそ、子どもは育っているのです。そこで、明日からの夏休み。思い切り遊び心を発揮できる期間だと思います。自分の目標をもち、その達成に向けて、一生懸命に取り組むことはもちろん大切ですが、そんな中にも遊び心を忘れずに、心からの笑顔があふれる毎日にしてほしいと願っています。大谷選手が、心から野球を楽しんでいる様子。笑顔がお手本です。ひぐみっ子の遊び心と心からの笑顔。いつまでも大切にしたい。夏休みを迎えるにあたって思うことです。

明日から夏休みが始まります。今年は、長い休みになります。健康や安全に気を付けて、元気に過ごしてください。次に学校に来るのは、8月27日(金)です。

給食なしの4時間授業 12:15下校

## どうぞ、よい夏休みを！